# キラリ✦おごしょ

県内各地で活躍する、
キラリと輝く女性たちにお話を聞きました。

## プレイを楽しみながら全国制覇へ！

原田学園
女子水球チーム
インタビュー：有馬 福美コーチ

原田学園女子水球チーム
鹿児島市小松原 2-10-10
TEL099-269-5858

チームが結成されて9年目に入りました。現在、小学6年生から高校2年生まで12人が所属しています。

水球の魅力は、ただ速く泳ぐだけではなく、ゆっくり動いたり、ダッシュしたり、時には敵の意表をついたりと頭と技をフルに使うところです。また、瞬時の判断力とチームワークが大切なスポーツです。ほとんどのメンバーが競泳経験者ですが、中には水球の青春ドラマを見て入ってきたメンバーもいます。

私たちが一番大切にしていることは、スポーツを楽しむということです。楽しんで一生懸命プレイすることが上達にもつながるので、和気あいあいとした雰囲気の中で切磋琢磨しています。これまでに、平成25年全国JOCジュニアオリンピックカップ水泳競技大会、平成27年第1回全日本ジュニア水球競技選手権大会などで優勝してきました。

現在、週5日の練習に励み、2年後の全日本ユース、そして4年後に開催される鹿児島国体では優勝を目指します！

「興味、関心を持って楽しむうちに探究心が芽生え、実力はついてくる」と語る有馬コーチ。

## "食べたい"を喚起するデザインの力

㈱ STUDIO K
グラフィック・デザイナー
和田　幸江さん

㈱ STUDIO K
鹿児島市中央町 14-9 三森ビル 302
TEL099-203-0477

県が取り組んでいる食品関連産業振興プロジェクト（食プロ）にデザイナーとして関わっています。食品メーカーと食品流通のプロと共にチームを組み、県内企業の既存商品や開発中の商品のブラッシュアップに取り組む事業です。綿密な販売戦略に基づいた「売るためのデザイン」を制作・提案するのが仕事です。

パッケージデザインはインパクトが必要ですが、おしゃれでかっこいい見た目にすればいいというものでもありません。農産物なら生産者の顔が見える素朴なタイプが受けることもあります。また、地元ではありふれていても、他の地域では高い価値を持つ商品もあり、その価値が伝わるデザインを作る必要があります。産みの苦しみはつきものですが、パッケージのイメージをガラッと変えることで、商品の真の魅力を引き出せるのがデザインの醍醐味です。

県内でも販路開拓に向けたデザインが求められるようになってきました。この先、さらに"お客様に届く"デザインが求められるでしょう。その期待にこたえられるデザイナーでありたいです。

和田さんが手がけたパッケージ。販売対象や商品の特性に合わせたデザインが生きている。

専用アプリで、このマークがある画像にスマートフォンをかざすとメッセージ動画が再生されます。
詳しくは3ページ（目次）をご参照ください。